

「自他の健康課題を正しくとらえ、
自らすすんで歯・口の健康づくりの目標を立てて実践し、
生涯にわたって健康の保持増進ができる生徒の育成」
～「生きる力」をはぐくむ歯・口の健康づくり～

栃木県那須町立那須中学校 8学級 生徒数171名

指導目標

知る（知識・理解）



実行・定着（実践）



伝える（発信）



実践紹介

※学区の小学校との連携、専門家との連携、地域・PTAとの連携をとおして

①歯・口の健康指導（歯科医・歯科衛生士・養護教諭・家庭科教員との連携）

歯・口の健康づくりに関する正しい知識を知り、自らの健康課題を正しくとらえ、解決するための取り組み。

歯科講話



歯科衛生士による授業

染め出しテスト



家庭科での調理実習

②各種調査及び自己管理のための取り組み

自己の口腔状況を正しく把握するとともに、自らの健康を将来的に考えられる能力を育てる。さらには、地域の問題として発信していける能力を育てる取り組み。

- ・歯の健康チェック及びチャート
- ・歯っぴーカルテによる管理
- ・毎日の生活チェック（歯みがき、朝食）
- ・歯科健康診断前の自己チェック
- ・マイホームチャレンジ
（各家庭で歯によい活動への挑戦）

歯っぴーカルテ管理



歯の健康チェック



③継続的な取り組み及び意欲づけのための取り組み

歯みがきや食事のとり方など、歯・口の健康に関して具体的な行動を習慣化するための取り組み。

- ・オリジナル歯みがきソングで給食後の歯みがき
- ・よい歯のポスター・標語・作文作成、応募
- ・給食献立の工夫（歯っぴーメニュー、噛みグメニュー）
- ・三品運動の推進
（朝食において三品以上とることを推奨）
- ・よい歯三冠王の表彰

給食後の歯みがきタイム



④家庭・地域との連携（発信できる生徒育成のための取り組み）

生徒が主体的に歯・口の健康に関して調べたり、発表したりすることにより、健康の重要性を理解して発信していける能力を育てるための取り組み。



↑ 歯によい調理実習会
（地域学校保健委員会）



歯っぴー交流 →
（小学生との交流活動）



↑ 歯っぴー健康教室
（学習内容を小学生に伝える）



← 歯みがきリーダーによる
ブラッシング指導